

スポーツ推進委員宿泊研修 6月3日(土)・4日(日) 葛が谷公園(神奈川)、天津・鋸山(千葉)

二年に一度の宿泊研修が行われました。この日は梅雨前の快晴のもと、バスは朝7時30分に板橋区役所前を出発し、宿泊研修では恒例の車中の定例会でスタート、その後順調に最初の目的地である横浜市都築区の葛が谷公園に到着しました。

今回、研修の一日目はニュースポーツを体験しますが、ここでは「シャフルボード」です(競技内容は下欄参照)。横浜シヤフルボード協会の方々にご指導いただき、慣れないながら楽しむことができました。

その後バスは次の目的地である千葉県鴨川市の板橋区立天津わかしお学校に向かいました。ここでは、本日二つ目となる「インディアカ」を体験します(競技内容は本誌4ページ参照)。なかなかハードなスポーツで、終わるころには結構汗をかきました。一日目はこれで終了し、宿に移動し大浴場で汗を流し、翌日に備え早めに就寝しました。

二日目は今回のメインイベントであ



頂上までもうひと頑張り!



みんな揃って、ハイ、チーズ

る富士市と鋸南町に跨る鋸山の登山に向かいました。この山は車やロープウェイでも登れますが、スポーツ推進委員としては徒歩で富士市の浜金谷側の登山道から登りました。道は狭く急坂か階段がほとんどで、体力的にはかなりきつかったです。木陰を渡る空気は爽やかで、時折望める東京湾や麓の景色は気分転換になり、また山頂から望む雄大な風景は圧巻でした。次に山中にある日本寺に向かい、岩を彫刻して作られた高さ30mを超える巨大な大仏像の前で集合写真を撮りました。

就任のご挨拶



区民文化部 スポーツ振興課長 金子 和也

「ぎわいの創出」を基本目標に掲げています。このビジョンをもとに、「する・観る・支える」の3つの視点を定め、区民の皆様がスポーツを様々な形で楽しみながら健康で心豊かに暮らし、感動とにぎわいのあるスポーツのまちとなるように全力で取り組んでまいります。

このたび4月よりスポーツ振興課長に就任しました金子と申します。

区では、「板橋区スポーツ推進ビジョン2025」を策定し、「区民の誰もが楽しめるスポーツ環境の整備」と「スポーツによる地域の活性化とに

その後君津市の日帰り湯で入浴、昼食をとり、アクアラインの渋滞に巻き込まれたためバスは予定より遅れて6時15分に板橋区役所に到着し、一泊二日の宿泊研修は幕を閉じました。

「ポッチャ」の審判 初めての試み 5月23日(火) 東板橋体育館



平成29年度の高齢者スポーツ大学に、スポーツ推進委員6名が参加しました。

一般参加者の方々に、ニュースポーツ「ポッチャ」を体験していただくため、ルール説明を行った後、競技を体験していただきました。

参加者の方々には、初めて体験するスポーツですので、まず、「ポッチャ」のボールを投げて感覚をつかんでもらい、その後、試合をしました。初めてにも関わらず、上手な方も多くいました。帰り際には「楽しかったですよ」という声をいただき、スポーツ推進委員としてひと安心しました。私たちスポーツ推進委員は、色々なニュースポーツを体験して、それを広げ、審判ができるようになることを目的に取り組んでいます。

関東スポーツ推進委員研究大会栃木大会 6月9日(金)・10日(土) 栃木県総合文化センター

一日目の基調講演ではセルジオ越後氏を講師に迎え「人を創るスポーツ」というテーマで講演があり、「昨今は人に会うのが面倒くさいなど、生活が孤立化し他人を理解することができなくなっている。スポーツは勝ち負けで一喜一憂するだけではなく、人とのふれあいを築くことに対しても有効です」というお話がありました。二日目の分科会では、各地区の活動の紹介がなされ、スポーツイベントだけではなく、市民がスポーツを継続することに意味があり、総合型地域スポーツクラブなどによる「スポーツの生活化」が、これからはますます必要になってくるとの講演がありました。

シャフルボードを体験しました!

宿泊研修初日の午前中に、横浜市の葛が谷公園でシャフルボードを体験しました。この公園には、日本でも数少ない、正規のコンクリート製のコートが12面も設けられています。

まずは、横浜シャフルボード協会の方からゲームのやり方などを解説していただきました。

シャフルボードは、氷上のスポーツのカーリングと少し似ています。全長約190cmのキューを使って、直径約15cmのプラスチック製円盤のディスクをシュートして、コートの反対側の三角形の各得点エリアに入ったディスクの数を合計して競います。

ただし、単に得点エリアに入ればよいというわけではありません。イエローとブラックに分かれ、交互に4回ずつディスクをシュートするため、得点エリアに入っている相手のディスクを外にはじき出したり、得点エリアに入っている自分のディスクを守る位置にシュートするなど、1打ごとに駆け引きが繰り広げられます。

初めはプレーがぎこちなく、ディスクが得点エリアに全然届かなかったり、強く打ちすぎてオーバーしてしまうことがたびたびありましたが、慣れてくると、相手のディスクをマイナス10点のエリアに押し出すなどの好プレーも見られました。

とても面白く、簡単にできるスポーツで、「もっとやりたい!」との声が多く上がっていました。みなさんも、機会があればぜひ体験してみてください。



キューでディスクをシュート!



枠に入れば得点ゲット! でも、10 OFFに入るとマイナス10点!

総合型地域スポーツクラブ



NPO 法人 志村スポーツクラブ・プリムラ 理事長 浅見宗弘



今回はプリムラ主催のイベントについてお話しします。毎年、冬に行っている卓球教室はすでに12回を重ねました。第1回は旧都立志村高校の体育館にて行われました。当時のプリムラは志村高校を拠点として活動をしていました。

卓球のことを良く知るため、ニッタクの商標でおなじみの、日本卓球(株)へ相談に行きました。総合型スポーツクラブのことを説明したところ、社長さんが興味を持ってくださいました。スポーツの裾野を広げたいという考えに、大いに共感されたそうです。そして超一流の指導者をプリムラに派遣する約束をしていただきました。第1回目は羽佳純子さんから北京出身の中国代表として世界を転戦し、その後、日本に帰化されました。卓球教室終了後は、参加者のためにサイン会も開いてくださいました。その後も毎年プリムラの卓球教室には一流の指導者を派遣してくれています。総合型SCの基本である、住民、行政、企業との連携のよい例です。プリムラは多くの人の理解と協力によって、成り立っていることを実感させられます。